

第3学年 学級活動指導案

平成27年 9月16日 (水) 第5校時

1 議題 「なかよし にこにこ運動会 をしよう」

(第3学年 ア 学級や学校における諸問題の解決)

2 児童の実態と議題選定の理由

本学級の児童は、明るく活発な児童が多い。休み時間になると外遊びに行き、元気いっぱい遊んでいる。また、読書を好む児童も多く、教室に用意した「おすすめの本」を楽しんで読んでいる。男女の仲も良く、一緒に遊ぶことが多い。

第1学期当初は、同じ友だちとばかり遊んでいたりと、他の児童になかなか声をかけられずに一人で休み時間を過ごしたりする児童の姿が見られた。そこで、初めて同じクラスになった子や、あまり話したことがない子と仲よくなる機会をつくりたいと考えていたところ、児童からも「クラスの友だちと仲よくなりたい」「一緒に遊びたい」という議題が多く提案があったため、本議題「なかよし にこにこ運動会」が選定された。

本年度、本学級の話合い活動は、低学年から中学年への進級に伴い、計画委員の役割や仕事、意見の発表の仕方について教え、少しずつ話合いが自主的にできるようになることを目標としてスタートした。年度当初は、自分の意見を持っていても恥ずかしくて発表できなかつたり、意見は言っても理由を明確に説明できなかつたりするなど、発表についての実態は様々であった。そこで、本年度の話合い活動では、「自分の意見が言える」「理由を明確にして意見が言える」だけでなく、「異なる意見も聞ける」「提案理由やクラスのめあてを考えた意見が言える」ようになることを目指して指導を繰り返していこうと考えた。また、計画委員については、まだ全ての班が計画委員を経験していない段階だが、「輪番制」にして児童全員に経験させ、それぞれが自分の役割を果たせるように支援しながら指導していくこととした。

係活動については、低学年で行っていた係活動の中に当番的な活動があったことを示し、当番活動と係活動の整理・統合をしてから活動をスタートさせ、その後、自分たちの活動を連絡したり、発表したりすることができる場や時間を設定した。

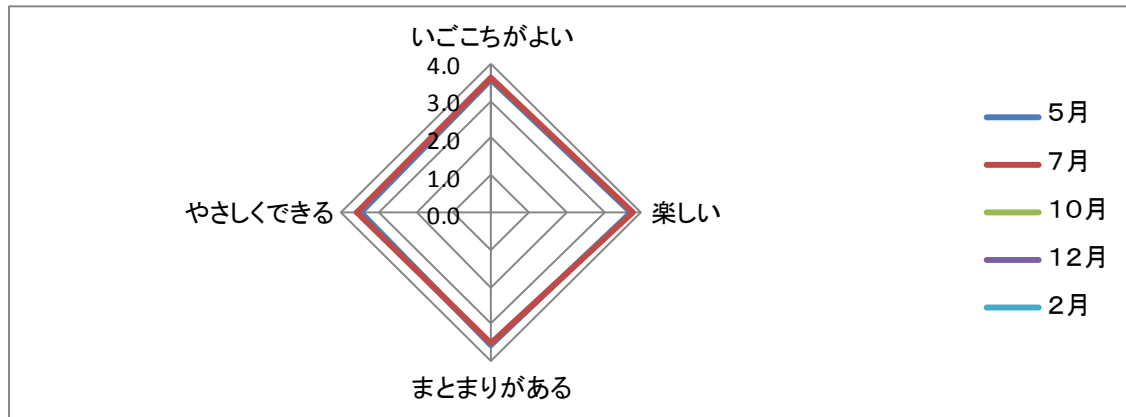
また、互いの意見や希望が聞けるようにするため、「ありがとうカード」「やったねカード」「教えてカード」「リクエストカード」の4つのカードを自由に書けるようにし、係活動カードの下に掲示して、活発に交流できるようにした。第1学期末には、「係発表会」をし、係ごとに発表内容を考え、発表した。第1学期の活動の努力を認め合い、第2学期の活動意欲へとつなげるための工夫として、賞状係が一人一人に手作りの賞状を作ってプレゼントするようにした。計画的に活動に取り組むことについては課題が残るが、少しずつ、楽しい学級づくりのための係活動となってきている。

第1学期は、「なかよし集会」「ミニ七夕集会」「係発表会」などの集会活動や、「クラスの歌」や「クラスの旗」を作る活動、「ふれあいタイム」でのクラス遊びなどを通して、友だち関係も広まり、楽しいクラスになってきた。このことは、学校で行っている「学級満足度調査」(5月、7月、10月、12月、2月の5回にわたって実施)の項目で一番高い数値となっていることから見て取れる。第1学期に行った2回目の調査結果を見ると、4項目中、「楽しい」の項目が最も数値が高く安定している。しかし、「まとまりがある」については数値が下がった。「楽しい」と感じている、クラスへの所属感を感じていない児童が少なからずいるのではないかと考察している。

学級満足度調査

(4そう思う 3どちらかというと思う 2どちらかというと思わない 1そう思わない)

月	いごちがよい	楽しい	まとまりがある	やさしくできる
5月	3.6	3.7	3.6	3.5
7月	3.6	3.7	3.5	3.6
10月	0.0	0.0	0.0	0.0
12月	0.0	0.0	0.0	0.0
2月	0.0	0.0	0.0	0.0



そこで、第2学期は、児童が「まとまりのあるクラス」と感じられるような活動を実践したいと考えた。9月末に、全校で運動会を実施するが、運動会は、児童全員が優勝を目指して頑張り、応援する、一年間で一番盛り上がる学校行事である。優勝という目標を目指して、まさに、みんなの心がまとまり、一つになる。そこで、クラスでも運動会を実施し、児童の所属感を深め、まとまりのあるクラスを実感できるようにしたいと考え、議題が選定された。

「なかよし にこにこ運動会」の準備や実践活動を通して、児童同士の間関係がよりよいものとなり、クラスにおける所属感が深まるようにしていきたい。また、友だちのよさにも気付き、認め合える場となるようにしていきたい。そのために、話し合い活動で「まとまりのあるクラスになるために」という提案理由を意識して考え、意見が言えるようにし、折り合いを付けた集団決定ができるように指導していく。

3 研究テーマに迫るための手立て

- ①自分の考えを持てるようにし、みんなのことも考えて全員が発表できるようにする。
- ②全員に役割を与えることで意欲を高め、進んで活動できるようにする。

4 人権教育上のねらい（人間関係調整能力）

- 自分の要求を一方的に主張するものではなく、建設的な手法により他の人との人間関係を調整したり、自他の要求を共に満たせる解決方法を見出してそれを実現させようとする。

5 人権教育上の視点

- 自分と異なる意見にも耳を傾け、互いを認め合える態度をもつ。

6 評価の観点・規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	よりよい生活や人間関係を築くた めの思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
運動会を成功させるために、進 んで計画や準備をし、友だちと協 力して意欲的に集団活動に取り組 もうとしている。	運動会を成功させるためのよりよ い方法を話し合い、計画的に取り組 めるよう考え、判断し、協力し合っ て実践している。	運動会を通して、友だちの努力 やよさを知ることの大切さを学 び、話し合い活動の計画的な進め 方について理解している。

7 事前の活動

日時	活動の主体	活動の内容	指導上の留意点 ◆評価
7月15日(水) 業間休み	計画委員会	・議題を整理・選定する。	・各提案の扱いを明らかにし、提案 者に伝えられるようにする。
帰りの会	学級全員	・選定した議題を伝え、全員で決 定する。	◆よりよい学級生活づくりのために、 進んで議題を選ぼうとしている。 (関心・意欲・態度) 【観察】
9月10日(木) 業間休み	計画委員会 提案者	・役割分担をする。 ・活動計画を作成する。 ・決まっていることを確認する。 ・話し合いの柱を決定する。 ・学級会ノートを作成する。	・提案者の思いや願いが反映される ようにする。 ・実態を踏まえ、日時や場所などは、 教師が設定する。 ・学級会の流れを確認し、話し合いの見 通しができるようにする。
9月11日(金)	計画委員会 学級全員	・話し合いの柱を提示する。 ・学級会ノートに自分の意 見を 書く。	・提案理由に沿った意見が書けるよ う助言する。 ◆運動会の目的に合った意見を考え、 判断し、自分の意見をノートに書く ことができる。 (思考・判断・実践) 【学級会ノート】
9月14日(月)	計画委員会	・準備をする。 ・意見をまとめ、話し合いの見通 しをもつ。	・役割や話し合うことを確認させ、 自信をもって仕事ができるよう に助言する。
9月15日(火)	計画委員会 学級全員	・意見の掲示、質問	

8 本時のねらい

まとまりのあるクラスになれる運動会の計画を立てることができる。

9 展開

第7回 なかよしにこにこ会議 9月16日(水) 第5校時	
議題	なかよしにこにこ運動会をしよう
提案理由	9月は運動会があります。運動会は、優勝を目指してがんばったり、応援したり

提案者 さん	ととても盛り上がる行事です。クラスでも協力し合って、楽しく運動会をやれば、もっとまとまりのあるクラスになれると思ったからです。
役割分担	司会（〇〇さん、◎◎さん） 黒板記録（□□さん） ノート記録（◇◇さん）
決まっていること	①10月9日（金）4時間目にやる。 ②3つのチームに分かれ、色を決める。 ③チームで協力し合ってできる種目を4つやる。
話し合いの順序	○指導上の留意点 ◆評価 ◎人権教育上の配慮
1 はじめの言葉	○大きく、元気な声ではっきりと言えるようにする。
2 計画委員の紹介	○自分の役割とあいさつがはっきりした声で言えるようにする。
3 議題の確認	○全員が声に出して読むことで議題を再確認できるようにする。
4 提案理由について	○提案理由については、提案者の思いが十分伝えられるようにする。話し合いの指針となるよう事前に指導する。
5 決まっていることの確認	○決まっていることを確認し、具体的な工夫について考えることができるようにする。
6 話し合い 話し合うこと① 「どんな種目にするか。」	○事前に考えておいた意見にこだわることなく、友達の見解を取り入れながらよいものを考えさせる。 ○提案理由を意識し、協力し合える種目が提案できるように助言する。
話し合うこと② 「運動会を盛り上げる工夫」	○発言者が偏らないように、司会者に助言するとともに、担任も意図的指名をし、全員が発言できるようにする。 ◆話し合いの進め方を理解している。（知識・理解）【観察】
話し合うこと③ 「どんな係が必要か。」	◎少数意見や反対意見に対しても耳を傾け、認め合えるよう配慮する。 ◆自分の意見を発表したり、友達の見解を聞いたりし、進んで話し合いに参加しようとしている。 （関心・意欲・態度）【教師の観察】
7 決まったことの発表	◆友達と自分の意見の違いに気づき、よりよい意見を考えようとしている。（思考・判断・実践）【発言】
8 学級会ノートへの記録	○柱ごとに、決まったことを発表できるようにする。
9 先生の話	○よかった点や課題点をふりかえり、自己評価させる。 ○提案理由を意識した発言や全体のことを考えた発言を称賛する。 ○計画委員のがんばりや話し合いでよかったこと、よかった意見などを称賛するとともに、事後の活動の見通しをもたせ意欲が高まるように言葉がけをする。
10 おわりの言葉	○大きく、元気な声ではっきりと言えるようにする。

10 事後の活動

児童の活動	○指導上の留意点 ◆評価
9月17日（木）帰りの会 ・役割決め	○複数名で役割を担当し、協力して活動できるようにする。
9月18日（金） ～10月8日（木）休み時間	◆係の準備に進んで参加し、取り組もうとしている。 （関心・意欲・態度）【観察】

<p>・係の準備</p>	<p>○意欲的に活動している児童、協力的に活動している児童、工夫して活動している児童を称賛する。 ○仲よく協力し合いながら活動できるように声かけをする。 ○友だちのよさを認められるとともに、自分のよさにも気付かせるようにする。</p>
<p>10月 9日 (金) 第4校時 ・実践活動 ・実践活動終了後、運動会を振り返り、感想を書く。</p>	<p>◆運動会の目的を考え、友だちと協力して、準備したり参加したりしようとしている。 (思考・判断・実践) 【観察・振り返りカード】 ○クラスの掲示コーナーに掲示し、次回の集会活動への意欲が高まるようにする。</p>

11 人権教育上の評価

○自分と異なる意見にも耳を傾け、互いを認め合える態度をもてたか。